

# 会 議 録

(1 / 4)

会 議 の 名 称	平成31年度 第1回坂戸市市民参加推進会議
開 催 日 時	平成31年4月17日(水) 午後2時00分 開会 ・ 午後3時00分 閉会
開 催 場 所	坂戸市役所3階303・304会議室
議長(委員長・ 会長)の氏名	柳澤智美会長
出席者(委員)の 氏名・出席者数	栗原照夫委員、町田早苗委員、相馬洋子委員、 戸口栄委員、福田千代蔵委員 計5名
欠席者(委員)の 氏名・欠席者数	小川玲子委員 計1名
事務局職員の 職・氏名	市民健康部 細野部長、高山次長 市民生活課 福島副課長、池田課長補佐、阪倉
会 議 次 第	1 開 会 2 挨 拶 3 自己紹介 4 審議事項 (1) 会長及び副会長の選任について (2) 諮問書の交付について (3) 市民参加の実施に対する総合評価について (平成30年度実施状況、平成31年度実施予定) (4) 坂戸市提案型協働事業補助金について (5) その他 5 閉 会
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議次第</li> <li>・ 市民参加推進会議名簿</li> <li>・ 資料1 坂戸市の市民参加手続について</li> <li>・ 資料2 平成31年度提案型協働事業募集要領</li> <li>・ 資料3 提案型協働事業審査基準</li> <li>・ 坂戸市市民参加条例</li> </ul>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p><b>1 開会</b> ・ 委嘱状の交付</p> <p><b>2 挨拶</b> ・ 副市長挨拶</p> <p><b>3 自己紹介</b> ・ 各委員自己紹介 ・ 事務局自己紹介</p> <p><b>4 審議事項</b> <b>(1) 会長及び副会長の選任について</b>  (副市長が座長)  会長に柳澤委員を選出。 ・ 柳澤会長挨拶。  (会長が議事進行)  副会長に栗原委員を選出。  <b>(2) 諮問書の交付について。</b> 副市長から諮問書の交付。 (副市長退席)  <b>(3) 坂戸市の市民参加の実施に対する総合評価について</b> 平成30年度実績、31年度予定について、資料1のとおり説明。</p>
事務局	
委員	<p>市民コメントが0件のものが多い。 バス・ワゴンの市民コメントが多いのは、実際に利用している方が多いなど自身の生活に密接にかかわっているためではないか。</p>
委員	<p>確かに、意見が0件というものが目立つ。これは市民コメントに対し、身近に感じられる市民が少ないのではないか。</p>
委員	<p>そもそも、市民コメントはどのように実施しているのか。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	市民コメントは市内の公民館や図書館等に提案箱を設置し募集している。市民コメントの周知については広報さかど、HP掲載し、周知するように努めているが、広報さかどには1ページの3分の1ほど掲載スペースを設けているが、ページでいうと中の方になるので、市民の目に止まりにくいかもしれない。今後は一人でも多くの方の目に止まるような、わかりやすい言葉を使うように促していく。
委員	公募委員について、公募枠を超える応募があった場合、どのように公募委員を決めるのか。
事務局	応募者が公募枠の人数を超えた場合、市の選定委員が点数をつけ、点数の高い者から公募枠内で公募委員に決定する。
	<b>(4) 坂戸市提案型協働事業補助金について</b> 坂戸市提案型協働事業について、資料2、3のとおり説明。
委員	「行政提案型」を今年度から開始するということであるが、例規上、問題はないか。
事務局	問題ない。
委員	「市民提案型」と「行政提案型」とあるが、どちらを募集するのか。
事務局	両方とも募集する。
委員	要領の中に、今年度の募集テーマが『外国籍市民との「多文化交流」「多文化共生」を図る。』とあるが、このテーマのみ募集するということで、よろしいか。
事務局	こちらのテーマは「行政提案型」の募集テーマである。「市民提案型」については、例年通りテーマを絞らず募集する。
委員	「市民提案型」と「行政提案型」は採択の際、優劣つけるのか。
事務局	優劣はつけない。あくまで、事業の内容を委員の方々に審査及び採点していただき、次回の会議で採択・不採択を決めていただく。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員	提案型協働事業は担当課が市民生活課なので、できれば他の課を巻き込むようにした方がよい。
委員	4月17日現在で、申請してきている団体はあるか。
事務局	申請はまだ来ていないが、子ども会の衰退に伴い、新たな交流の場として、浅羽野地区で映画鑑賞会を企画している団体と、空き家対策の関係でセミナー等の開催を計画している団体から、それぞれ今年度申請を検討しているということで、話を伺っている。
委員	最高で何団体が補助金を受けられるのか。
事務局	今年度の予算で50万円あるため、その予算の範囲内で対応する。
委員	補助金の申請額はどのように決まるか。
事務局	10万円を上限に申請書に記載された金額である。
会長	<b>(5) その他</b> その他について、何かあるか。
事務局	次回の市民参加推進会議開催について6月14日を検討しているが、御都合はいかがか。
全委員	問題ない。
事務局	それでは次回は6月14日に開催することとし、時間や場所については、改めて通知する。
会長	他に何かあるか。
全員	特になし。
	<b>5 閉会</b>